



単元名	すきな もの、なあに	1 時間
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> * 人前で聴衆に向けて自己紹介ができる。 * 語彙を増やし一貫性のある文を作る。 * 三種類の疑問文の違いの理解。 * 友達、先生と日本語で会話。 	
日本語の目標	<ul style="list-style-type: none"> * 語彙を増やす * 日本語の構成を理解し主語、対象語、述語の順序の文を作る。ぼく、わたしは～が好きです。 * 肯否疑問文、選択疑問文、疑問詞疑問文の違いを理解しそれぞれに合った答え方ができるようになる。 * 肯否疑問文、選択疑問文、疑問詞疑問文の違いを理解しそれぞれの疑問文を作れるようになる。 	
学習課題	<ul style="list-style-type: none"> * 挨拶、自己紹介をはっきりと言う。 * 友達、先生と日本語で会話をし得た情報を記録する。 * 友達、先生との会話で得た情報を発表の場でみんなに伝える。 * できなくてもあきらめない 	
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> * 物事に関する語彙（名詞）、好きな理由、根拠になる語彙（形容詞、動詞可能形等）を絵カード等を使って習得する。 * 質問を聞き、理解し、答えを探し出し、返答し、相手に伝わったかを確認する、という会話の流れを学ぶ。 * 誰とでも平等に会話する。 	
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> * 4 つの観点に関して 3 段階の基準を設けて、毎時、授業内容に合わせて詳細を変えていくルーブリックを使う。 * 授業の後、生徒はルーブリックを見て自己評価。生徒用ルーブリックは解りやすくする。 * 帰宅後、先生の評価が保護者に届き、保護者より生徒に伝えてもらう。 * 以下、ルーブリック例。 	

生徒用

基準\観点	にほんご	はなす こえ	みる めせん	きく みみ
すばらしい	すらすら いえた	みんなに きこえた	はじめから おわりまで みんなを みた	はじめから おわりまで きいた
がんばり ました	ちゃんと いえた	もごもご はなした	ときどき みんなを みた	ときどき きいた
もうすこし だね	ちょっと いえた	さけんじやった だまちゃった	ちょっと みんなを みた	ちょっと きいた

先生から保護者へ用

基準\観点	文法、語彙	話し方 明瞭さ	視線、聴衆を意識	聞き手側での態度
素晴らしい	適切な 日本語を使っている	皆に聞こえるように はっきりと話している	最初から最後まで、 聴衆を見ようと している	最初から最後まで 発表者を見て聞こう としている
がんばり ました	理解できる 日本語を使っている	一部の人が聞こえる 話し方 もごもご話す。	時々、聴衆を見よう としている	時々、発表者を見て 聞こうとしている
もう少し だね	一部理解できる 日本語を使っている	叫んでしまう、 黙ってしまう	一瞬、聴衆を見よう としている	一瞬、見て聞こうと している

学習活動計画

時	内容	活動	ポイント
1	<p>「僕は～が好きです。なぜかという、～からです。」という文を用意し、一人ずつ先生の質問に答えながら発表する。</p>	<p>1, <疑問詞疑問文と、理由を尋ねる疑問副詞を理解し、その返答を聴衆の前で発表する。> 先生の「何が好きか」「なぜ好きか」という質問の答えを考え、みんなの前で発表してみよう。</p> <p>① 発表準備 *各自、自分の好きなものリストを見る。 *みんなの前で発表したい好きなものを選択しノートに書く。 *その理由も書く。 *発表時に見ないで言えるように練習。</p> <p>② 発表準備 語順確認 *以下の図を板書 (文字無し) *各自ノートに図だけ書く</p> <div data-bbox="453 651 1056 1137" data-label="Diagram"> </div> <p>③ 発表 *先生が発表する人を指名する。 *指名された生徒は前に出る。 *先生;「自己紹介お願いします。」と言う *生徒;挨拶、自己紹介をする。 *先生;「A君は何が好きですか。」と質問する。 *生徒;「僕は～が好きです。」 *先生;「なぜ好きですか。」 *生徒;「なぜかという～からです。」と答える。 *先生;「わかりました。どうもありがとう。」</p>	<p>何が好きか、なぜ好きかを一人で考え、文を組み立てる。</p> <p>質問をしっかり聞いて、正しいタイミングで質問に答える。</p> <p>発表目標 8> これまで練習してきたことの総括。</p>